

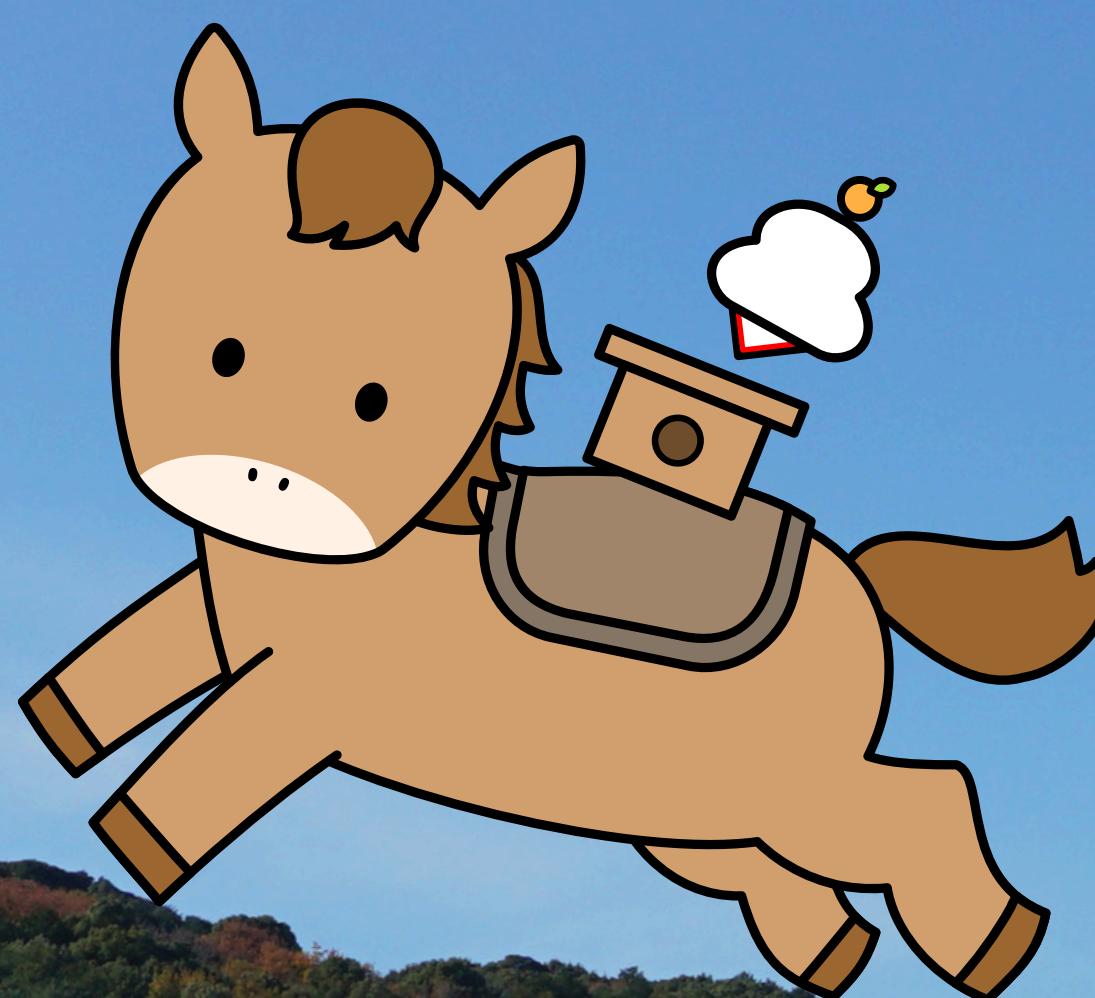
社会福祉法人 宰府福祉会

# wakatake

2026年 新年号

あけまして

おめでとうござ  
います



連載

## これから の 福祉サービスとは？

センター駐車場にて  
全拠点の利用者の皆さんと

〈目次〉

- 1 P 令和8年新年挨拶
- 2 P～3 P 特集：「安心した生活」とは…？
- 4 P 皆さんの声
- 5 P～6 P 活動報告
- 7 P 地域交流「第二回 語ろう会」お知らせ 他

地域交流  
第二回「語ろう会」

お知らせ

令和八年は、法人のコンセプト（いつでも気軽に誰でも利用できるサービス）の実現に努めます。

- ①サービスの適切な提供
- ②コミュニケーションと

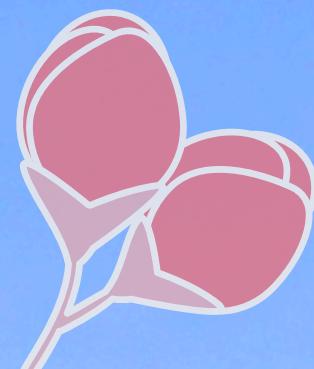
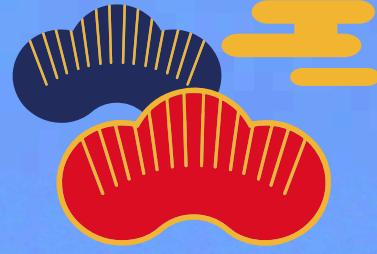
- ③情報発信とボランティア活動と人材育成の推進

本年もどうぞよろしく

お願いいたします。

理事長 草本 武俊

## 令和八年 新年挨拶



社会の大きな変化の中、昨年は、やまももの数年先の姿を想像しながら、活動や支援を行う一年でした。今年も数年先を想像しながら、利用者、保護者、地域の「今」に寄り添っていきたいと思います。

やまもも施設長 岡田 美幸

今年の干支は「午」。「ゆり工房」の干支や関連商品も、お陰様で好評を博しています。「人間万事塞翁が馬」と言いますが、社会も変化の連続、将来を不安に思うより、必ず良くなると希望をもっていきたいと思います。

ゆり工房施設長 中村 勝利

昨今の異常気象は、利用者さんの身体にも少なからず影響を与えているように感じます。今年も利用者・ご家族・地域の皆さんが明るく健康に過ごせることを願いながら「にじ」としての役割が果たせるよう取り組んで参ります。

にじ管理者 木原 直輝

昨年は、活動や作業、行事など試行錯誤を繰り返す1年でした。リーダーとして、進むべき道を指示し示し、職員が日常の支援や業務に丁寧に取り組んでいけるよう、システムづくりや管理、人材育成に力を入れていきます！

さいふ施設長 大内田 美津子

令和八年は、法人目標を達成するため、全体観をもって公平化を図り、業務の効率化、サービスの標準化を行い効率的な運営に努めます。

- ①法人本部の統括機能の充実
- ②経営方針の着実な実現
- ③法人本部と各施設の現場との連携と一体化

本年もどうぞよろしく

お願ひいたします。

本部長 深町 美代子

子どもたちが元気に成長し、生活を楽しむことが、私たち職員の願いです。

すみれ園は「笑顔溢れる居場所づくり」を抱負に、今年も元気一杯、子どもたちやご家族と一緒に考える支援に尽力いたします。

すみれ園施設長 矢野 佳子

宰府園は開園から48年を迎え、50周年を目前にしています。これもご利用者、ご家族、地域の皆様のご協力とご支援のおかげと感謝申し上げます。入所施設として利用者の望む生活に近づけるよう、将来と共に考えていきます。

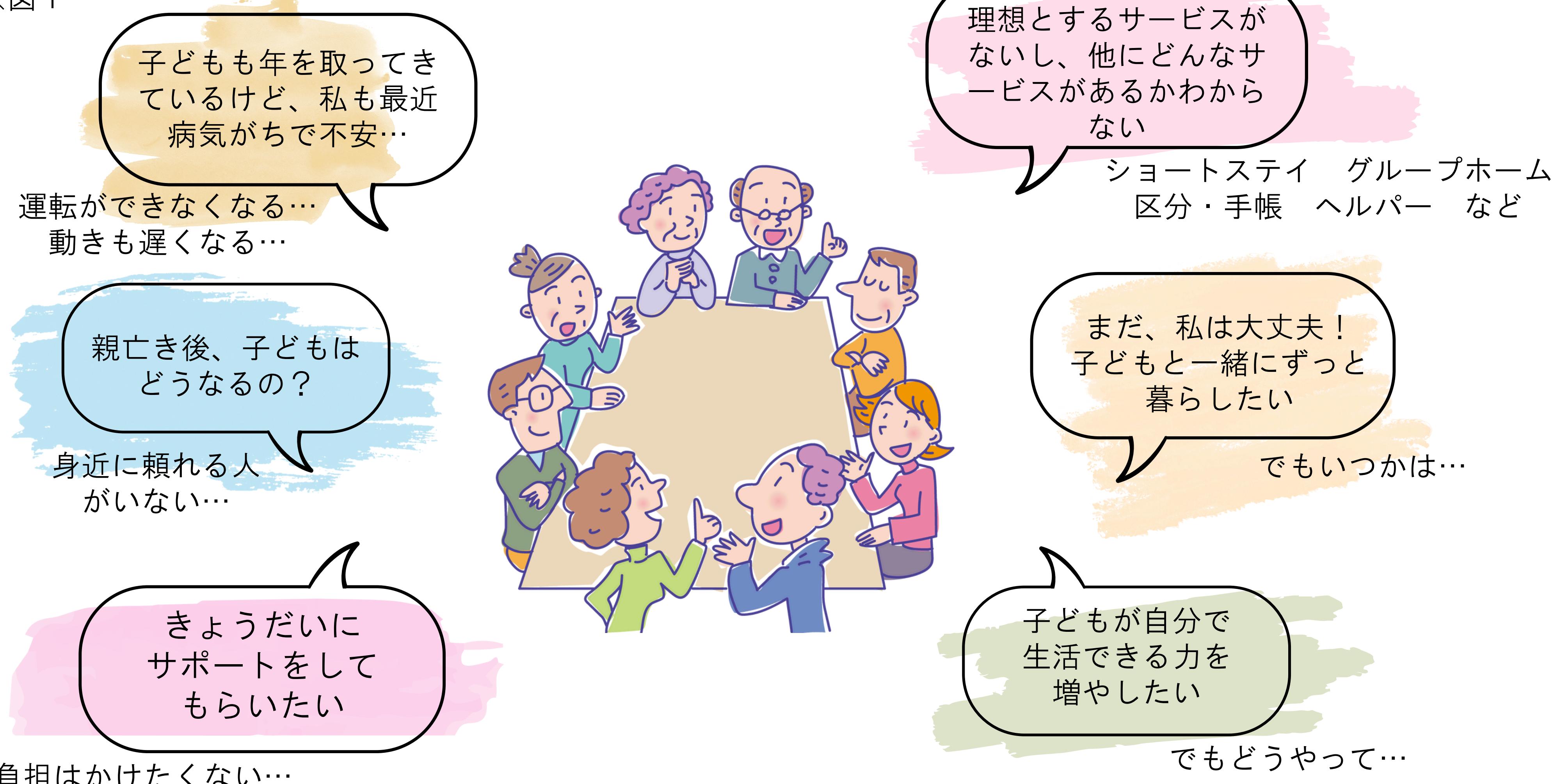
宰府園施設長 吉福 美紀



第三回 みんなが将来、安心できる生活をおくるために

第1回 「今の暮らしのこと」懇談会を実施しました

※図1



4つのテーマ

- ①子どもの健康のこと生活のこと
- ②家族のこと自分のこと
- ③サービスや制度のこと
- ④その他



4グループに分かれて、意見交換をしました

今回、地域共生社会実現に向けた第一歩として十一月七日に「今の暮らしのこと。子の将来と自分の老後」というテーマで、懇談会を開催しました。参加者は、障がいのあるお子さんを持つ保護者の方で、七十代が中心でしたが、幅広い年代層の方も参加してください、今抱えている不安や思い、そして願いを率直に語っていただきました。

「これからの福祉サービスとは」と題し、これまで、二回にわたり、少子高齢化に伴う人手不足の問題や福祉サービス、そして地域福祉について、連載・特集をしました。「2040年」には、現行の福祉サービスの形では地域の福祉ニーズを受け止めることはできなくなります。そこで、新しい福祉の形として地域の方や社会福祉法人、そして事業所などが連携をして、厚生労働省の掲げる地域共生社会と一緒に創っていく必要があると述べさせていただきました。

## 第1回 地域貢献事業を終えて

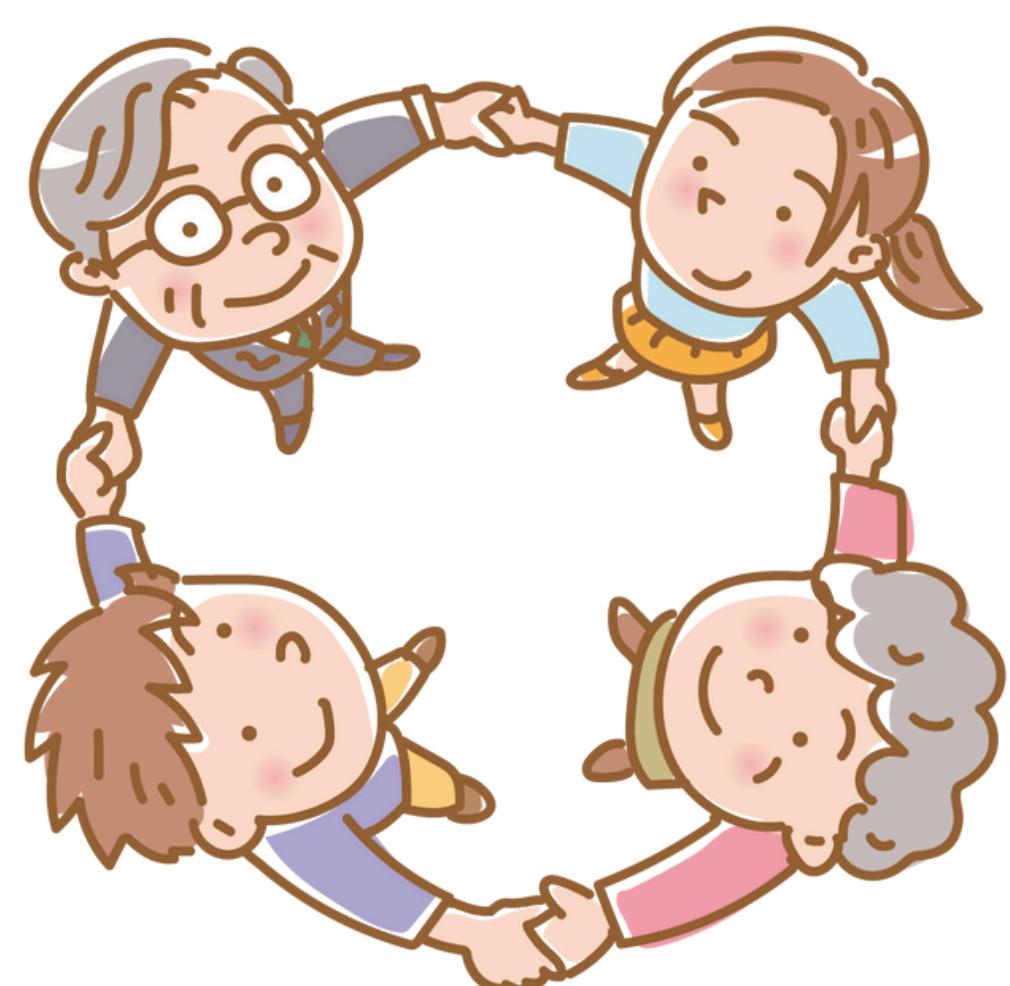
今回の懇談会は、時間が足りないほど様々な思いや意見が交わされ、いろいろな気づきがあった会になりました。

ここでは、前頁図1にあるような具体的な意見がどのような流れで語られ、気づきにつながっていったのかを、テーマに沿いながら整理し、考えてみたいと思います。

### 子どもの健康こと生活のこと 家族のこと自分のこと

「今はまだ元気だから大丈夫。でも病気等で動けなくなった時はどうしよう」と不安な声が上がり、シビアな現実を出し合いました。

一方、自分自身と障がいを持つ子どもに対して、理想的なサービスが無かったり、どんなサービスがあるのか、どのように利用するのかなど分からず状態であることが分かりました。



### サービスや制度のこと／その他

「親亡き後、子どもたちの支援はどうなるのか？」「子どもに合ったサービスがあるのか？」「必要なサービスを受けることができるのか？」と、ショートステイやヘルパーなど具体的なサービス名が多数挙がりました。

しかし、そのサービスの具体的な内容はどうなのか、そして、そのサービスはどんな条件ならば利用できるのかなど、詳細が分からず事実も浮き彫りになりました。

### 懇談会から見えてきたこと

今回の懇談会で思っていることや感じていることを話し合うことにより、「漠然とした不安を抱え、サービスについても知らないことがある」という現状が分かってきました。

そこで、次のステップとして「子どもたちにどんな生活をして欲しいのか？」という親の思いを具体化したり、「本人がどんな生活を望んでいるのか」という本人の思いを知ることも大切になってきます。そして、その生活を一つでも多く現実にするためには、どのようなサービスがあるのか、どんな準備が必要なのかを考えていく必要があるのではありますか。

それから、懇談会の意見であった「身近に頼れる人がない」「保護者同士のつながりが必要」という意見はとても大切だと感じます。

ただ、家族・お隣さん・隣組・地域など当たり前にあった「つながり」は、以前に比べると厳しい現状です。だからこそ、今回のような「つながる場」や「語り合える場」を設け、少しずつ“安心”できる生活を形づくられるように、寄り添っていきたいと考えております。そして、互いに助け合い一緒に乗り越えていけるような未来を目指していきたいと思っております。

お世話になって  
いる方々の声  
を載せる  
コーナーです

## 想い つながれ

西南学院大学からすみれ園に実習で来  
ていた学生2名に寄稿いただきました。

### 「すみれ園の運動会に参加して」

9月からソーシャルワーク実習で、子どもたちの運動会練習のお手伝いをしました。

運動会当日は、朝から緊張している子どもたちの様子がたくさん見られて、本番のかけっこは「走れるかな」と感じてしまいましたが、子どもたち全員が頑張っていて、ゴールを目指す姿にとても感動しました。運動会の練習過程に関わって、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。特に、実習中、担当させてもらった子どもの本番の頑張っている姿にはとても感動しました。心温まる運動会でした。

運動会当日は、保護者の方や地域の方が見ている中で、いつもとは違う雰囲気を感じて、子どもたちも緊張している様子がありました。それでも、先生たちの声掛けに応えようと身体を動かしたり、最後まで競技に取り組む姿に感動させられました。運動会の活動の過程に関わらせてもらい、その中で先生と子どもたちの姿を通して、日々の生活の積み重ねが成長につながっていること、子どもたち一人ひとりの自信や達成感につながっているのだと感じることができました。



### 「頼れるご近所さん」

太宰府市つつじヶ丘区自治会長

松崎 啓之（ひろゆき）様にお話を伺いました。

#### 質問①普段、どんな活動をされていますか？

自治会では、年間、行事がいくつか開催されます。例えば夏まつりやもちつき大会などですが、会の運営は大きな仕事の一つです。その他、防犯パトロール（青パト）や子ども向けの「見守り隊」などは日常的に活動しています。

#### 質問②つつじヶ丘区はどんな所ですか？特徴などを教えてください。

太宰府市には44の自治会がありますが、その中で最も高齢化率（50%超）の高い自治会です。高齢化の例では、「敬老会」の在り方も変わりました。以前は、対象の高齢者が公民館に集い、食事会などを開いていましたが、対象者も増え、運営が難しくなり、2年前から自治会の福祉部が「福祉会」を立ち上げました。①77歳以上の独居の方②80歳以上のご夫婦 全員を対象に、月に1回、歌やレクリエーションなどを楽しむイベントを企画し、開催しています。参加の顔ぶれは決まってきますが、「福祉会」は粘り強くお声かけをし、孤立しないよう気にかけながら活動を進めています。

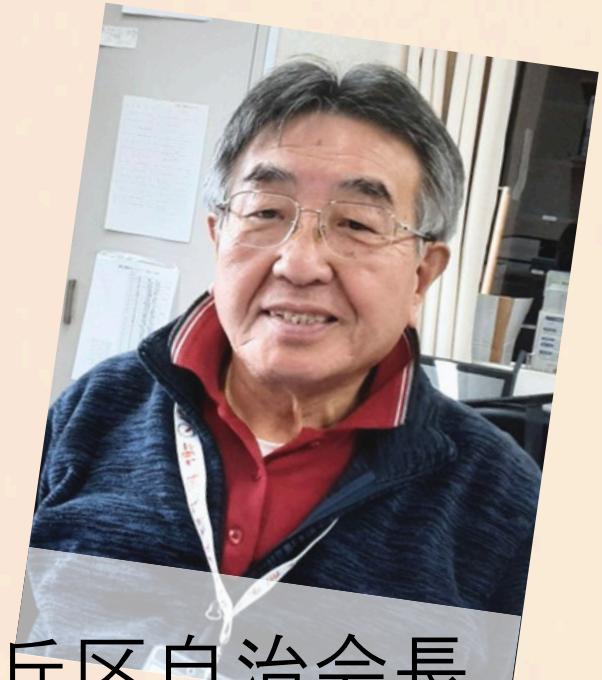
#### 質問③区長として心がけていることなどはありますか？

自治会長としての仕事は、13名の役員に、情報を伝達し、共有すること、必要時は招集をかけ、みんなで協力できるようにすることです。その「司令塔」として役割を果たすことが一番重要だと感じています。そのために、日ごろから良好な関係づくりを意識し、「本音で向き合う」コミュニケーションを心がけています。

#### 取材をして・・・

「宰府園」では、「つつじヶ丘」の方たちと合唱を通じた交流をしたり、日常的に複数の方が介助や支援のお手伝いに来て下さっています。今回の取材で、独自の組織をつくり、「取りこぼしのないサポート」を実践していることを伺い、「福祉のできることって何だろう？」と改めて考えるきっかけになりました。近くに良い実践例があり、法人との連携や協力によって、一緒にできることが多くあることを改めて実感しました。

取材：大内田 美津子





## 宰府園

11月17日（月）に「つつじヶ丘歌おう会」との合唱交流を行いました。この交流会は合唱ボランティアの江口先生、夜勤職員の小柳さんからのご縁があり実施することが出来ました。

歌おう会から22名が来園され、四季の歌のハーモニーに利用者も身体を揺らしながら聞かれ、利用者さんも3曲披露しました。最後は全員で「ドレミの歌」「もみじ」を合唱し、利用者さんは緊張しながらも練習の成果を出すことができ、素晴らしい大合唱でした。

＜生活支援員 立石＞



歌の紹介



「歌おう会」さんの発表

## やまもも

グループホームやまももでは、2ヶ月に1回の行事を実施しています。11月は「クッキング」で“フレンチトーストと焼リンゴ”を作りました。

調理の機会が少ない利用者の皆さんにも、包丁で食パンやリンゴを切ったり、焦げないように焼いたりと、ひとつずつ挑戦してもらいながら、進めていきました。

出来上がりが待ち遠しかった分、いつも以上に美味しい感じたのではないでしょうか。

＜生活支援員 内野＞



しっかり手を添えて



はい！出来上がり

## 地域生活支援センター

11月25日（火）、すみれ園卒園児の小学生の保護者を対象とした「性について語ろう会」をセンターの食堂で実施しました。子どもの「性」について、保護者の方から具体例を出していただきながら話を進めました。

自身の体について知り、大切にすることは自分を守ることにも繋がります。その為には、まず大人が「性」への意識を変えて学び、それを伝えることの大切さを感じる「語ろう会」となりました。

＜支援員 待鳥＞



学習会の様子



参考書籍の紹介

## にじ

11月14日（金）に「マークイズ福岡ももち」に行ってきました。

フードコートで美味しいご飯を食べた後は、グループごとにショッピングや散策等をしました。食後のデザートにアイスクリームを食べたり、お土産にお団子や焼き菓子を購入したり、色々なお店を見て回ったりと、思い思いの時間を過ごしました。帰りの車内では高速道路から見える景色がとても綺麗で、食べて見て沢山楽しむことができました。

＜生活支援員 原田＞



デザートは別腹！



笑顔でピース♪



## さいふ

利用者の皆さんと障がい者施設が運営する「レストランゆずのき」に出かけました。公共の場で落ち着いてすごすことや、順番を待つなどの社会的なマナーを学ぶ良い機会となりました。また、ビュッフェコーナーでは自分で料理を選ぶ経験を通して自ら決めることや気持ちを表すことの練習にもなりました。外食の雰囲気を楽しみながら、自信や社会参加へ高まる様子を見て、行事の大切さを改めて感じた一日となりました。

〈生活支援員 内海〉



どれも美味しいそう！



みんなでランチ

## ゆり工房

今年も、「いきいきフェスタ春日2025」に参加しました。子育て・福祉・健康をテーマに開催され、子供から高齢者まで、たくさんの方が来場されました。

利用者は午前中はマフィン・ネームプレート作り体験で来場した多くの子供や家族との体験を通して交流、午後から物品バザーで食べ物や雑貨の買い物、遊びのコーナーの参加やスタンプラリー後の抽選会をして楽しみました。

〈生活支援員 岡部〉



展示会の見学も  
楽しみました！



似合うでしょ？

## すみれ園

10月26日（日）「第22回すみれ園運動会」を開催しました。

運動会では、毎年子どもたち一人ひとりに合った競技内容を、職員同士で話し合いを重ねながら考えています。子どもたちの好きなものをテーマとして取り入れることで、競技への興味・関心を引き出し、楽しみながらも挑戦する気持ちや運動発達を促し、さらに友達と一緒に乗り越える経験へとつなげています。

子どもも職員も一丸となり、一人ひとりが光り輝く素敵な運動会となりました。

〈児童発達支援管理責任者 西村〉



運動会制作の様子



手押し車～  
いちにいちに♪

## やまもも 地域交流

やまもある南畠地域は住民同士のつながりを大切にされています。平成10年にやまももが開設してから現在に至るまで、散歩や活動の際の見守りやお声掛け、施設行事での餅のふるまい、地域行事へのご招待と利用者も楽しめるような配慮等々、たくさんのご協力をいただいているいます。

普段からお世話になっている地域に少しでも協力が出来ればと、やまももでは10～11月にかけて南畠コミュニティ食堂への施設の解放及び送迎協力、南畠美術散歩への車両貸出を行いました。

10月19日（日）の南畠コミュニティ食堂は、子どもか

ら大人まで60人ほどが来られ、地域の方々の作られたおいしい手料理を食べながら、おしゃべりにも花が咲いていました。施設の広さや設備を活用し、普段とは違うコミュニティ食堂になったようです。ゆっくりとした時間とおいしい料理を私達も満喫しました。

11月16日（日）は、南畠に移住したアーティストや作家さんのアトリエを巡る人気イベントの南畠美術散歩が秋晴れの中、開催されました。当日は利用者もいくつかの会場をめぐり、芸術の秋を楽しみました。

利用者が安心して過ごせる居場所が少しでも増えるよう、地域への協力を今後も続けていきたいと思います。

〈やまもも施設長 岡田 美幸〉



コミュニティ食堂の  
メニュー♪



みんなで芸術の秋を  
満喫！



絶好の散歩日和

語り合おう第2回

### これからの暮らしのこと～子の将来と自分の老後～

日時：令和8年1月16日（金）10:00～12:30

場所：宰府福祉会 地域生活支援センター（太宰府市大字大佐野757-1）

対象の方：障がいのある子どもを持つ高齢のご家族（1家族2名様まで）

※駐車場あり

定員：20名（定員になり次第申し込みを締め切らせていただきます）

締切：令和7年12月24日（水）

予告：第3回 「支え合う暮らし」（予定）

申込み：下記連絡先にお電話を頂くか、QRコードよりお申込みください。

◆地域生活支援センター（太宰府市）  
092-918-1803（担当：大内田）

◆ゆり工房（春日市）  
092-575-2223（担当：中村）

◆さいふ（太宰府市）  
092-403-0933（担当：大内田）

◆にじ（春日市）  
092-575-2225（担当：木原）

◆やまもも（那珂川市）  
092-951-2075（担当：岡田）

◆宰府園（太宰府市）  
092-925-7200（担当：吉福）

◆すみれ園（太宰府市）  
092-925-4681（担当：矢野）

申込QRコード→



### 宰府園

- 1月 元旦、おせち料理  
和カフェ  
新年挨拶会  
地震訓練  
2月 豆まき  
防犯訓練

### さいふ

- 1月 地震避難訓練  
2月 節分  
バレンタインクッキング  
防犯訓練

### やまもも

- 1月 活動はじめ  
成人式  
2月 防災訓練  
嗜好調査  
嘱託医検診

### すみれ園

- 1月 放課後連携会議 放課後リンク  
太宰府市との福祉避難所開設訓練  
2月 リズム参観・懇談会  
3月 年長児お楽しみ会  
卒園式  
年長児保護者対象茶話会

### ゆり工房

- 1月 二十歳の祝い（1名）  
2月 内科検診  
地震避難訓練  
3月 火災避難訓練

### にじ

- 1月 新年を祝う会  
ドライブ活動  
(春日神社初詣の予定)  
2月 内科検診  
地震避難訓練  
3月 火災避難訓練  
春のお茶会

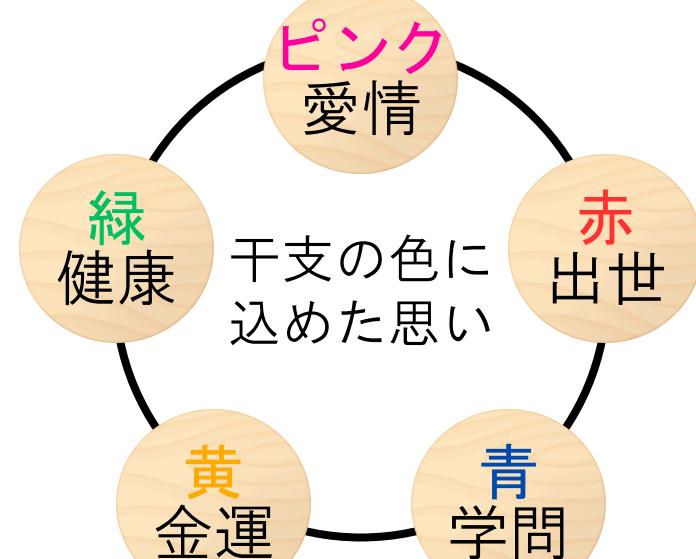
### 令和8年3月 年長児保護者対象茶話会の企画について

「はじめの一歩を応援！～小学校生活を楽しむために～」をテーマで、保護者茶話会を地域生活支援センター交流スペースにて開催します。4月から新一年生となるお子様を持つ保護者の皆様が、小学校生活を安心して楽しめるように、不安や期待を共有し、語り合える場です。

お子様の幼児期の成長を振り返り、学童期に大切にしたいことを確認する時間にもなれば幸いです。



ご注文連絡先  
TEL: 092-403-0933



①単品（500円）

②5個セット+立札付き  
(2,500円)



ご注文連絡先  
TEL: 092-575-2223

②茶うま (1,000円)

③白うま (1,000円)

①だる午 (700円)



④箱入り だる午&  
うまセット (1,600円)



※④のセットの「茶うま」「白うま」はお好きな方を1つお選びいただけます。

### みんなの声

きかせて



「Wakatake」に関する質問やご意見、ご要望など、皆様の声を聞かせてください！  
下のQRコードより Google フォーム  
に入力をお願いします。



わかたけ第45号

社会福祉法人 宰府福祉会 法人本部事務局：福岡県太宰府市大佐野761-1 発行責任者：草本武俊 編集委員会  
本誌に掲載されている個人情報等につきましては、事前にご本人、ご家族に同意を頂いております。

### 『編集後記』

新年、あけましておめでとうございます。今年の干支は成功や飛躍の象徴「午」です。皆様の努力が結実する年となることを願っています。

さて今回は、11月に実施した懇談会の報告と、そこから見えてくる保護者の方の不安や悩み等をお伝えしました。子どもの将来を想像し、その実現のために今できることは何か、共に考えていくべきだと思います。

広報委員 待鳥 優輔

